

平成 26 年（1 月～11 月末）の労働災害発生状況について

1 労働災害発生状況

(1) 概況

ア 前年同期との比較

	平成 25 年 11 月末	平成 26 年 11 月末	増減（率）
死亡災害（人）	862	866	4（0.5%）
死傷災害（人）	96,317	96,900	583（0.6%）
重大災害（件）	166	230	64（38.6%）

イ 先月末との比較

	平成 26 年 10 月末	平成 26 年 11 月末	対前年増減率の推移
死亡災害（人）	789	866	6.6% → 0.5%
死傷災害（人）	87,555	96,900	1.6% → 0.6%
重大災害（件）	214	230	40.8% → 38.6%

ウ 近年の同月との比較（11 月（1 ヶ月間に登録されたもの）の労働災害件数の経年推移）

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
死亡災害（人）	101	122	77
死傷災害（人）	10,080	10,164	9,345
重大災害（件）	21	14	16

（注：12 月 7 日までに入力した速報値である。）

（出典：死亡災害報告、労働者死傷病報告、重大災害報告）

(2) 死亡災害

ア 業種別発生状況

建設業（320 人）、第三次産業（192 人）、製造業（149 人）、陸上貨物運送事業（107 人）の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「墜落・転落」(226人)、「交通事故(道路)」(191人)、「はさまれ・巻き込まれ」(134人)の順で多く発生している。

ウ その他

死亡災害の前年同期の増加率は先月に比べて6.6%から0.5%に縮小している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、製造業では▲10.8%から▲15.3%に減少幅が拡大した。また、建設業では19.6%から8.1%、陸上貨物運送事業では37.9%から35.4%と、依然として前年同期より増加はしているものの、いずれも増加幅が縮小している。

(3) 死傷災害(休業4日以上)

ア 業種別発生状況

第三次産業(41,435人)、製造業(22,648人)、建設業(14,348人)、陸上貨物運送事業(11,671人)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「転倒」(21,470人)、「墜落・転落」(16,833人)、「はさまれ・巻き込まれ」(12,659人)の順で多く発生している。

ウ その他

死傷災害の前年同期の増加率は先月に比べて1.6%から0.6%に縮小している。業種別の先月末からの前年同期の増減率で比較すると、第三次産業では1.5%から0.6%、製造業では2.7%から1.4%、建設業では1.6%から0.5%と、依然として前年同期よりも増加はしているものの、いずれも増加幅は縮小している。陸上貨物運送事業では0.4%から-0.5%と減少に転じた。

(4) 重大災害(一時に3人以上の死傷者を伴う災害)

ア 業種別発生状況

建設業(106件)、第三次産業を中心としたその他の事業(65件)、製造業(43件)の順で多く発生している。

イ 事故の型別発生状況

「交通事故」(116件)、「中毒・薬傷」(40件)、「その他」(32件)の順で多く発生している。

ウ その他

重大災害の発生件数は、全産業において230件で、前年同期に比べて64件、38.6%増加し、先月の40.8%増加に対して増加幅が若干縮小している。建設業において106件で、前年同期に比べて34件、47.2%増加し、先月の46.3%増加に対して増加幅が若干拡大している。製造業において43件で、前年同期に比べて21件、95.5%増加し、先月の110.5%増加に対して増加幅が縮小している。